



## 新潟県作業療法士会ニュース

朱 鷺  
TOKI NIIGATA

No. 24

## 令和6年能登半島地震について

公益社団法人 新潟県作業療法士会

会長 四方秀人

この度、令和6年1月1日に発生しました石川県能登地方を震源とする大地震にて多くの人命が失われましたことは、会員の皆様も報道で承知のことと思います。お亡くなりになられた方々をはじめ、そのご家族様の心中をお察しすると、胸が押しつぶされそうになります。

改めまして、被害に遭われました皆様、会員の皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。

新潟県の被害状況は、特に新潟市西区等で液状化現象や道路の陥没、ブロック塀の崩落など生活に支障が出ていることが報告されています。今のところ会員の皆様からの直接的な被害報告は聞いておりませんが、親戚が、実家が、友達の家が、職場が、知り合いが、等の被害は耳にしております。

県士会としては今後も継続して県内の情報把握を行い、要請時は派遣等を含めた支援を行っていく所存です。また、県外でのJARTやDWAT等の多職種との協業派遣についても協力して参ります。

新潟県士会は中越地震、中越沖地震、東日本大震災、糸魚川大火、村上豪雨災害等の県内災害に加え、熊本地震や岡山豪雨などの県外での災害に対しても、義援金や派遣等の支援経験があります。その経験を活かし、落ち着いた対応・支援ができたかと考えていますので、会員の皆様のご理解・ご協力をどうか宜しくお願い致します。

最後になりますが、国内を含め世界中で多くの苦難・災害が発生しています。起こって初めて「いかに平凡な日常が幸せだったのか」と実感しますが、私も含め皆様も日々の何気ない出来事に感謝し対象者に向き合っておられることと思います。そのような状況の中、ふと考えた時、災害により失う当たり前の日常は、目の前の利用者・患者さんも病気になって初めて実感するものに類似しているのかもしれないと感じております。

災害の支援も、利用者の支援も「当たり前の日常に戻りたい(価値観を含め)」という当たり前の想いに応えるために我々専門職は日々の業務を頑張って参りましょう。

# 令和6年能登半島地震における 士会活動の経過報告について

災害対策委員会 担当理事 齋藤元浩

委員長 齋藤裕久

はじめに、この度の能登半島地震で被害に遭われました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

令和6年1月1日16時10分、マグニチュード7.6、最大震度7、石川県能登地方を震源地とする大規模な地震が発生いたしました。新潟県でも最大震度5弱、新潟市を中心に液状化現象による建物の傾きやブロック塀の倒壊、道路の亀裂及び陥没などの被害が確認されました。

新潟県作業療法士会（以下、士会）では、1月1日に災害対策本部を立ち上げ、4日にブロック及び支部長を通じて士会員の安否や被害情報の収集を開始、同日に第1回災害対策本部会議、10日にリハビリテーション専門職協議会（以下、リハ協議会）内で、第1回3士会合同災害対策本部会議を開催しております。並行して、新潟県災害リハビリテーション連絡協議会（以下、新潟JRAT）及び新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（以下、新潟DWAT）でも本部を設置、県への情報収集や会議が開催されました。士会災害対応としましては、規程に従って被災会員に向け会費免除の申請受付を開始いたしました。日本作業療法士協会の申請も開始されておりますので、士会ホームページよりご確認ください。（ホームページ→県士会より→石川県能登地方を中心とした大地震について）

県内の被害状況は、発災直後は津波警報の発令があり、日本海沿岸の地域を中心として避難所が開設されましたが、4日頃には避難所も一部が閉所に転じておりました。執筆の時点では士会員から自宅被害の簡易報告は届いていますが、自宅が大きく損傷するような被害ではなく、新潟県災害対策本部会議資料からも会議へ参加する関係団体も少なくなっています。幸い県内において保健医療福祉の面からの災害支援のニーズはなく、新潟県災害対策本部は、保健医療福祉調整本部を立ち上げない方針が打ち出されています。士会及びリハ協議会としても災害支援のニーズがないことを踏まえ、県内での士会活動は重要性が低いと判断しています。一方で、石川県能登地方では建物の倒壊や火災、道路の寸断など被害が大きく、余震も続き支援が不十分な状況が続いております。避難生活も長期化しており、2次的な健康被害が発生している状況です。

そこで、石川県は石川JRATを通じて被災地への派遣支援を要請され、新潟JRATから士会に対して会員の協力依頼がありました。第1陣として1月29日よりPT・OT1名ずつを派遣し現地支援に当たっております。当面は経験や知識のある会員へ担当いただく予定で検討しておりますが、支援も長期化していく可能性がありますので、会員の皆様へ広く募集していくことも検討しております。是非、ご協力の程、よろしく願いいたします。

災害はある日突然発生しICFでの環境因子が大きく阻害されることで、活動や参加などすべての能力が阻害されてしまいます。リハビリテーションの視点から環境因子を中心とした支援ができる作業療法の特性を生かし、災害支援が展開できる専門職及び団体として、理解や関心を深めていただきますと幸いです。

# 第18回新潟県作業療法学会

学会長 新潟リハビリテーション大学 長谷川 裕 先生

昨年の12月9日に新潟市内新潟ユニゾンプラザにて、第18回新潟県作業療法学会が開催された。学会は対面およびオンラインのハイブリッド形式にて実施され、オンライン参加者は20名、参加者合計は149名であった。演題発表は口述15演題ポスター5演題であった。そのうち卒業後5年以内の士会員による発表が6題あり、若い士会員の学会発表への意欲が感じられた。今学会では、いくつかの新しい試みをおこなった。その一つとして、子育て中の会員の参加を支援として全会場子ども同伴参加可、子ども同伴優先席を設置したが、学会参加者へのアンケートでも満足度が高く、学会テーマの多様性の包摂につながる良い試みであったと考える。参加者の方々、関係者の方々には、改めてお礼申し上げる。

## <最優秀演題賞>

介護老人保健施設マチュアハウス中条 大竹 めぐみ 様

このたびは、栄誉ある賞を頂き感謝申し上げます。本研究に協力頂いた、多くのご利用者様や胎内地区の各種関係者の皆様方に、改めてお礼申し上げます。選考委員の先生方が、本研究を評価してくださったことは、大きな自信になりました。地域包括ケアの実現のため、その中核的な役割を担う老健で、今後も研究活動および臨床活動に、さらなる精進を重ねてまいりたいと思います。

## <学会長賞>

新潟リハビリテーション病院 加藤 英歌 様

この度の学会長賞受賞に心から感謝申し上げます。合意目標である「作詞・作曲」に段階的に取り組み、自己表現が促進された症例を報告させていただきました。ここでは音楽療法の視点から、患者様の感情や考えを音楽で表現する方法を用いたことで、臨床での成果に貢献したと考えています。最後に、患者様と日頃から指導いただいている職場の上司、先輩方に感謝申し上げます。

## <フレッシュマン賞>

合同会社BOND ハルボンド 矢澤 なつみ 様

この度は、フレッシュマン賞を受賞することができ誠に光栄に思います。

関係者の皆様には心から感謝申し上げます。全国的にみて生活介護事業所に作業療法士がほとんど在籍していない中で、生活行為障害を呈した利用者に家屋評価を実施し、本人が希望とする自宅入浴が可能になった事例を発表させていただきました。これからも初心を忘れずに、自己研鑽を続け精進していきます。



学会運営スタッフ



岩根先生

## ユニバーサルデザインの便利道具の紹介

介護老人保健施設新井愛広苑 作業療法士 池田 香奈

今回は、私が行ってきた作業療法の中で、実際に使用し、「便利だな!」「ナイスだな!」と実感した道具を紹介させていただきます。福祉用具として市販されているものではありませんが、有能な道具です。私見にはなりますが、参考にいただければと思います。どれも店舗やネット通販等で購入可能です。

1つ目は、「家庭用エルゴメーター」のミニサイズです。座ったままで上下肢の運動が行えます。軽量で持ち運び可能なので、いつも座っている椅子やソファで運動が可能です。機種によっては回転数や消費カロリーの表示ができ、成果を可視化することもできます。テレビを見ながらなど、「ながら運動」におすすめです。

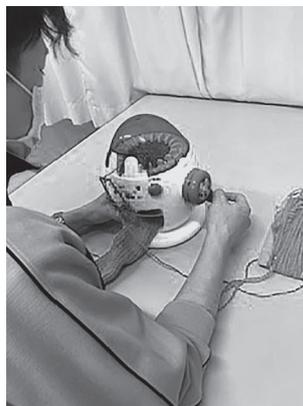
2つ目は、「子供向けの玩具、あむあむたまご」です。ハンドルを回すと大きなりリアン編みが完成します。アレンジ次第で、マフラーやぬいぐるみといった作品になり、仕上がりもきれいです。実際に失調の方に使用していただき、上肢の振戦や筋力低下があっても網目の揃ったきれいなマフラーが仕上がりました。比較的短時間で作業が完結し、見栄えの良い作品に仕上がるので、手芸がお好きな方におすすめです。

3つ目は、「もたれてシンク腰楽」です。炊事や皿洗いの際にもたれて作業をすることで腰への負担が軽減します。設置方法はシンクに挟むだけで簡単です。汚れや水にも強い素材です。実際にパーキンソン病の方に使用していただき、腰痛の緩和や屈曲姿勢の改善を認めました。同居の家族様も自然ともたれており、皆様のお気に入りとなっています。

<家庭用エルゴメーター>



<あむあむたまご>



<もたれてシンク腰楽>



これらのように福祉用具として流通している道具以外にもユニバーサルデザインや使いやすい、便利な道具はたくさんあると思います。今後も広くアンテナを張り、作業療法に邁進していきたいと思えます。

# 施設紹介のページ



## 介護老人保健施設 葵の園・上越

葵の園・上越は前経営母体が引き継ぐかたちで平成25年に開設しました。上越市東部の新潟県南部産業団地の一角に位置しており、話題となった映画「ドライブ マイ カー」の撮影が近くで行われたこともある地域です。

当施設は入所150床（一般棟100床・認知専門棟50床）、通所リハビリ定員40名であり、OT3名、PT4名、ST1名でそれぞれの個性を発揮しながら、ご利用者のより良い生活を目指しリハビリを提供しています。また、OTは毎月近隣の介護予防教室に出向き、要介護以前の意欲的な高齢者を対象に介護予防に関する情報提供や体操の実施等も行っていきます。

当施設の理念『笑顔とまごころの思いやり あたたかい介護』を心に、日々精進しています！



## 介護老人保健施設 マチュアハウス中条

大竹 めぐみ

当施設は新潟県北部に位置する胎内市にある介護老人保健施設（以下、老健）です。施設は、国道113号の海岸線沿いに建ち、近隣には村松浜海水浴場やブルーベリー農園、広大なチューリップ畑があり、自然豊かな地域です。「マチュア (mature)」には、「円熟、成熟」という意味があり、さまざまな人生を歩み成熟した方々に、真心をこめたサービスを提供しています。

現在、リハビリテーション科はOT4名、PT5名、ST3名の計12名のスタッフで構成されており、OTは、老健入所、短期入所、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションに従事しています。

当施設は、老健の本来の役割である在宅復帰や在宅生活支援に力を入れている、『超強化型』老健です。OTは、入所者の望む生活の実現のために、活動と参加に焦点をあてた個別性のある作業療法を展開しています。なかでも、調理訓練、買い物訓練などのIADL訓練に力を入れています。また、通所リ



ハビリテーションでは、生活行為向上マネジメントを活用し、時間や場所にとらわれない支援を行っています。

今後も地域に必要とされる老健施設を目指して、職員一同、力を合わせて頑張っていきたいと思っております。近くにお越しの際は、是非、当施設へお立ち寄りください。

## 令和5年度 第4回理事会 議事録

日時：令和6年1月13日（土） 13：00～18：16

会場：オンライン（Zoom）でのWeb開催

【出席者】四方、石井、門脇、村山、尾崎、  
小山、山倉、青柳、伊東、斎藤、  
佐藤、渋谷、嶋倉、藤本、松岡、  
山中、吉井（以上、理事17名）  
水越、横田（以上、監事2名）

【欠席者】北上（以上、理事1名）

### 【報告事項】

#### 1) 会長報告（四方会長）

- ・9月9、10日第2回よんばち協議会に参加。協会役員と士会役員との意見交換を1月25日に行う予定。国際部より海外免許に関するアンケート調査予定。地域保健総合推進事業で、健康増進の保健事業進出へ、0次・1次予防について検討
- ・10月7日県介護福祉士会30周年記念式典へ出席。40周年記念式典に向けてミスを減らす取り組みを。
- ・10月20日新潟市地域包括支援課を訪問。後日担当課からPT士会に通所C事業の事業所審査へ参加の打診。PT士会よりOT士会にも一緒にと打診あり参加できることになった。
- ・10月21日協会主催の自治体または企業における成人の健康作りに寄与する基礎研修に参加。PTが「怪我を予防できる体作り」といったことを請け負っておりOTではメンタルヘルスケアについて関わることになりそう。準備体制を検討の必要あり。
- ・11月9日倫理事案の研修会（小金澤先生）を実施。
- ・11月14日斎藤ひろあき衆議院議員の意見交換会に出席。臨床の中でのエビデンスの構築が重要で精神科領域のエビデンス構築にも積極的に取り組まなければならない。
- ・11月25日第3回よんばち協議会参加。協会の重点活動項目の中に「地域の課題に対応できるよう全国の市町村に会員を配置する」構想。新潟県では支部長制度があるためより成熟させていきたい。
- ・12月2日移動支援の研修会に出席。石川県の自動車教習所で働くOTからの報告があった。
- ・12月18日賛助会員であるイワツキ株式会社からご挨拶

をいただいた。今後とも協業していく。

- ・1月10日三士会合同災害対策本部会議を実施。

#### 2) 理事報告

##### ①広報委員会（尾崎理事）

- ・LINE配信は月5000件までの配信で5000円。配信作業の簡素化を目指す。県士会HPに広報誌のバックナンバー掲載済。予算執行率は95%。

##### ②地域包括ケアシステム推進委員会（斎藤理事）

- ・会議3回、研修会1回実施。満足度の高い研修が実施された。
- ・予算執行率80%。残り会議1回で最終90%弱。

##### ③災害対策委員会（斎藤理事）

- ・今年度分の事業終了。予算執行率は48%、最終80%台となる見込み。
- ・本年1月1日発生の能登半島地震に対して報告。県内では新潟市西区で避難所が2カ所継続されている。県士会では発災後に対策本部を設置し情報収集を開始。新潟県内よりも石川県への支援に向けて活動していく方針。被災会員の県士会費免除の受付を開始。三士会合同での会議を開催し、被害状況を確認した。JRATより石川県への応援要請あり。第1陣としてDr.1名、POS1名ずつ現地に派遣予定。今後長期間の支援が必要な見込みであり一般会員への募集も行う予定で案内を作成中。
- ・災害時シミュレーション訓練を実施。今年は、理事、ブロック長、支部長に対して実施。理事からは概ね返答あり。下越・上越ブロックとは比較的連携がとれているが、その他は連絡が滞ることがあった。今回の訓練と災害発生時の対応状況はリンクしている傾向あり。

##### ④現職者共通研修委員会（藤本理事）

- ・県学会と同日に事例報告、事例検討を対面で実施。事例報告6名、事例検討8名。2月に事例報告・検討の研修会を予定。予算執行率は57%。最終90%台見込み。
- ・吉井事務局長より座長の参加費について委員会ごとに解釈が異なるとの意見あり。今後検討。

##### ⑤臨床実習推進委員会（藤本理事）

- ・「作業療法士の人材育成を考える研修会」を実施。予算執行率76%。最終的には80%台か。

##### ⑥保険委員会（松岡理事）

- ・報酬改定に関する情報収集等計等活動内容が増えている。予算執行率15%。
- ・四方会長より報酬改定について途中経過が出てきているため会員への発信の要望あり。

#### ⑦地域共生社会推進委員会（松岡理事）

- ・フォローアップ研修は参加者が少なかった。
- ・東区の茶の間は10年目を区切りとして10月で閉鎖予定。それ以外の区は事業継続予定。
- ・予算執行率40%。

#### ⑧公開講座企画実行委員会（松岡理事）

- ・公開講座の申し込み44名。会場11名・オンライン33名（内OT22名）と少なく危機的参加の呼びかけを継続。予算執行率は60%。最終的には予定通り執行できる見込み。

#### ⑨福祉用具対策委員会（小山理事）

- ・研修会を実施。「CommentScreen」機能を活用し積極的な対話が行われた。予算執行率は64.8%。最終的には100%近くになる予定。

#### ⑩現職者選択研修委員会（青柳理事）

- ・1月に研修会を予定しており37名の参加予定。予算執行率は26%。最終的に90%程度の見込み。

#### ⑪学術誌編集委員会（青柳理事）

- ・学術誌発刊に向けて原稿チェック製本中。現時点で予算執行率は13%。最終は90%見込み。

#### ⑫精神分野推進委員会（嶋倉理事）

- ・コア会議5回、全体会議3回、研修会1回実施。2月に研修会1回、会議3回残している。予算執行率50%。最終的には100%近くか。
- ・刑務所ケアプログラム派遣事業は9月から第1クール開始し、現在第2クールで評価中心の関わり。教育専門官の課題や悩みに答えている状況。ケアプログラムの目的やねらいを分析してまとめたスライドを作成中。
- ・嶋倉理事より今後も当派遣事業を進めるにあたり、「日本司法作業療法学会」の会員となることについて議題提起あり。理事・幹事の意見を踏まえて学会参加費の支弁を行うことに。

#### ⑬MTDLP委員会（山中理事）

- ・予算執行率74.43%。年度内で90%以下の見込み。発表者が例年の半分程度と少ないが、「発表なしで参加」から「発表ありで参加」に繋がっている。

#### ⑭福利厚生委員会（山中理事）

- ・会員向けにアンケート実施予算執行率97%。

#### ⑮総会議事運営委員会（山中理事）

- ・予算執行率92.95%で終了。

#### ⑯選挙管理委員会（山中理事）

- ・予算執行率66.58%。次年度役員改選準備開始。

#### ⑰リハビリテーション専門職協議会事務局（山中理事）

- ・行政や各団体との連絡や問い合わせに対応。
- ・県ケアマネ協会の講師推薦依頼に人選を実施。
- ・能登半島地震に関して、災害福祉ネットワーク協議会に団体としての状況報告を行った。
- ・三士会の事務局をユニゾンプラザへ移転申し込みに向けて必要書類を準備中。

#### ⑱スキルアップ研修委員会（石井副会長）

- ・会議4回、研修会2回開催。第2回研修会は47名参加、第3回研修会は32名参加。
- ・現時点での予算執行率は95%。会議1回と第4回研修会で100%超える見込み。

#### ⑲教育部（石井副会長）

- ・県士会の独自の教育システム作成に向け、キャリアラダーを作成へ進んでいる。協会の生涯教育制度改定の方で動いている。

#### ⑳特別支援教育委員会（伊東理事）

- ・学校訪問支援はフォローアップも含め2校に2回ずつ訪問。同行派遣を行っておりOT2名で訪問。今年度は派遣依頼が7回と少なく新規依頼なし。コロナ禍があげ各病院から派遣が増えたり、学校側が対応できないことが要因か。
- ・「発達障害とトラウマ」のテーマで研修会を行った。今後、事例検討を予定している。
- ・予算執行率は44%。依頼が少なく90%未満か。
- ・四方会長よりモデル的1校を決めることも提案。

#### ㉑ICTサポート委員会（渋谷理事）

- ・研修会を実施。協会の来年度の重点課題にも「ICTを使える人材育成」という課題があり検討が必要。次年度はサポート事業と研修会事業で進めていく。
- ・現時点で予算執行は83%。委員会議と公開講座のサポートを予定しており最終見込みは90%程度。

#### ㉒倫理委員会（山倉理事）

- ・弁護士の小金澤先生を招き、役員と倫理委員会を対象とした研修会を実施。来年度は会員向けの研修を

企画中。予算執行は92.35%。WEB開催予定の研修会を一部対面に変更したため、予算が多く動いている。最終的には100%を超える見込み。

#### ②3表彰委員会（山倉理事）

- ・次年度の県士会表彰の準備、40周年記念式典の記念事業や県知事表彰の準備中。協会は対象者なし。
- ・予算執行率は75.27%。

#### ②4規約委員会（山倉理事）

- ・今年度は新規規約策定の予定がないため執行率0%。

#### ②5生涯教育委員会（佐藤理事）

- ・2025年4月から協会の生涯教育制度が改定の予定。予算執行率は57.45%。最終見込みは90%程度。

#### ②6移動支援対策委員会（村山副会長）

- ・委員長の職場移動や委員の体調不良で活動が進められず予算執行できてない。2月に研修会予定。

#### ②7ブロック内事業（村山副会長）

- ・執行率90%程度見込み。今後、支部長の報告を受けて予算執行していく。

#### ②8ケア協議会（村山副会長）

- ・ケア会議に直接支援に入る要望数は今年度4件。予算執行率は2月中に100%に達する見込み。

#### ②9学会運営委員会（門協理事）

- ・12月9日に県学会開催。参加者は対面129名、WEB20名、計149名。アンケートの回収率は34.8%、好意的な内容が多く、子供同伴の学会やリレーメッセージ等の新しい試みへの反応も良好。
- ・次年度は晴陵リハビリテーション学院の上杉先生を学会長とし実施予定。日程は12月7日で検討していたが、新潟ユニゾンプラザより、「子供同伴の開催であれば他団体の予約がない日に変更してほしい」と打診あり。12月7日は既に他団体の予約が入っているため改めて日程調整を行う。学生枠での参加も検討していく。
- ・予算執行率は62.4%。残り会議2回、次年度の会場予約費用や物品費で、最終的に83%の見込み。
- ・村山副会長より学会日程について意見とオンデマンド配信の活用も検討しては、との提案あり。

#### 3) 事務局報告（吉井事務局長）

- ・会議への参加、事務員の勤務調整を行った。
- ・後援依頼3件（新規1件）、共催依頼（新規）1件、計4件に承諾で返答している。

- ・国民医療を守るための決議の採択についてのお願いの書類に賛同すると返答。
- ・能登半島地震による県士会年会費免除の案内を開始。現時点では問い合わせなし。

#### 4) 財務報告（吉井財務部長）

- ・事業収入が108万、研修会収入は予定の1/3程度。執行率が悪くても今年度の収支相償は満たすと思われる。収入・支出共に動きが少ない傾向。
- ・無料となる委員や役員以外は研修会を受けないという傾向。次年度以降、研修会参加無料と有料の人数割合、経験年数の傾向がみていけるとよい。
- ・年会費未納者37名。2年間分未納者8名。2回目の督促状を送る予定。

#### 【協議事項】

##### 1) 第1号議案 会員管理について

入会者：6名（今年度：37名）

退会者：7名（今年度：14名）

正会員数：1,077名（内、休会26名）

賛助会員：4社

- ・退会理由は様々。給与、処遇について政治家を含めて動いているが課題。OTを目指す学生は減少。

⇒ 承認

##### 2) 第2号議案 令和6年度事業計画予算案について

#### 【基本指針】

- ・ハイブリッド開催やオンデマンド配信を主として多くの会員に学びの機会を提供する、県独自の教育システムを策定する。従来通りの派遣事業に加えて刑務所への派遣も継続。OTを目指す学生を増やす為の取組みとして、養成校との連携強化を図る。学生会員制度の導入を検討する。40周年記念式典と第3回POS学術大会の準備を行う。

#### 【予算案について】

- ・研修会収入が減少し収支差額で最大180万程度の赤字。事業の内容・会議数・経費の見直しで支出を減らす。

#### 支出について

- （学会運営）実際の執行率から80万程度で見直し。
- （学術誌）毎年100%近く執行されるため現行通り。
- （共通研修）執行率70~80%程度。28万程度で。（選択研修）毎年執行率良く現行通り。（臨床実習）講

師は養成校で担うよう取り決めあり。講師料見直し20万程度で。(生涯教育)同額程度。(MTDLP)事例検討会を減らす。申し込みが多ければ補正予算を組む。(スキルアップ)現行通り。(広報)固定費のみに戻った為、今年度より予算減。(公開講座)執行率80%と低い。会議数を減らし33万程度で見直し。(ケア協議)現行通り。(地域包括)10万削減、36万で。(ブロック)5万削減、32万で。(共生社会)東区への派遣分修正が必要。(特別支援)派遣数を7回に減らして計算。(障害福祉)執行率13%程度。5万。(福祉用具)現行通り。(ICT)機材購入費と旅費・交通費で26万増。(精神分野)刑務所からの収入14万。会議数減、会議を1時間に短縮し76万で見直し。(保険)報酬改定の研修会分増。(災害対策)連絡網整備、災害時対応の勉強会等を新規事業として増。(移動支援)次年度はアンケートのみ。2万で見直し。⇒公益事業で672万7501円(提出予算より90万円減だが、23万赤字)。(事務局)現行事業を継続するのであれば減らせない。減らすのなら定期便や年賀状の見直しが必要。

第2号議案 ⇒ 本日再考した金額+各委員会10%程度の経費削減が必要。事業計画・予算を再検討し再提出(1月31日締め切り)とする。

### 3) 第3号議案 謝金規程について

●派遣業務謝金額を半日5,000円から10,000円に増額する改定案。

⇒会員は職場に所属している為、士会からの派遣で業務に穴をあける際には相応の対価が必要。

・実績としては、茶の間では1時間5,000円、刑務所への派遣は1回6,600円。PTは1時間5,000円の規定がある。

・1.5時間以内5,000円、1.5時間以上半日未満は10,000円などと幅をもたせるには内規の作成が必要。金額が見合わない場合は理事会の承認を得る等、幅を持たせた方がいいのか。派遣するOTの質の担保も含めて金額を設定する必要があると思われる。市町村や学校等からの依頼により行う場合は依頼側の指定金額に従うという解釈。

●論文支援アドバイザーについて査読者と同様の実働あり、1編3,000円の謝金とする改定案。

⇒論文支援アドバイザーの支援回数は2回程度と回数も決める予定。会員への案内時には支援の内容

を明記することも必要。

第3号議案 ⇒ 「派遣業務謝金額」以外について、提出書類の通り承認された。「派遣事業謝金額」については継続審議とする。

### 4) 第4号議案 令和6年度表彰対象者について

・来年度の県士会功労表彰として佐藤律子様が推薦。

⇒ 承認

### 5) 第5号議案 「心のバリアフリーとリハビリテーションを推進する映画製作ご支援のお願い」について

⇒映画製作について1口30,000円で支援の依頼。全国半数以上の県士会が賛同している為、当士会も賛同してもよいのではないかと。目的は広報活動。会員への説明は総会で実施する。

⇒ 承認

### 6) 第6号議案 その他

#### ①能登半島地震に対する協会からの初期支援金について

・協会から1次支援として一律30万円の初期支援金を受けとることができるが、活動費として必要かどうか情報収集し検討を行ったが現時点では、情報収集や会議の費用等は今年度の災害対策委員会の予算でおおまかに賄える想定。

⇒ 「受け取らない」で承認

#### ②学生会員制度設立について

・昨今の会員数減少を鑑みて組織率上昇が目的。

・県内の養成校3校の学生が対象。年会費は無料。入会方法は通常の会員と同様。学生会員には対象の研修会を無料受講、県士会LINEの登録可能、新潟県士会の正会員となる初年度の入会金が5000円とする等の権利・特典をつける。大学院生免許取得済みで正会員であることが多いため対象外(他県士会でも同等の扱い)学生会員としての受講は協会の生涯教育制度とはリンクはしない。

⇒ 承認(次年度総会で全会員の承認を得る)

#### ③報告事項(事務局の移転について)

・新潟ユニゾンプラザのレストラン跡地に、三士会それぞれの事務局を移転することで準備を進めている。申請締め切りが1月22日であり理事会での承認を待てない為、会長判断で移転することを前提に進めた。コストの低減と関連団体との連絡・協業のしやすさ等メリットが大きい。

以上

SAKAimed

急性期からの＊  
ハンドセラピーを  
お手伝いします。

＊ スプリント ＊

酒井医療株式会社  
新潟営業所  
Tel: 025-278-4777  
www.sakaimed.co.jp



介護用品、レンタル・販売  
リハビリ機器、医療機器販売

(株)いわしや  
悠久堂医科器械店

本 社 TEL 0258-47-1848  
新潟営業所 TEL 025-284-6866

各種車椅子・座位保持装置・ベッド  
・コミュニケーションエイド・福祉機器  
・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

(株) G・T・B  
(オーエックス新越)

〒956-0017  
新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27  
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710  
<http://www.gtb-niigata.jp/>

義肢・装具・介護レンタル  
ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社団法人 日本義肢協会登録・中部125号

 (株)田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11  
TEL 025 281-0303  
FAX 025 281-0339

LUNA CAST

ルナキャスト®  
熱可塑性ギプス包帯

硬化後も再成形できる！  
手軽で便利な現場の味方

- 70℃以上のお湯で軟化し、素手で使用可能
- 硬化後の補強も簡単
- フィット性に優れている

やさしい目で健康を見つめる...  
イワツキ株式会社



新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872

新潟市東区牡丹山3丁目1番11号 三森ビル301号

<TEL> 025-279-2083 <FAX> 025-384-0018

<E-mail> ot-niigata.toki4721@helen.ocn.ne.jp

No.24 2024年 2月29日発行

発行責任者：四 方 秀 人

編集責任者：尾 崎 生

発 行：公益社団法人新潟県作業療法士会広報部

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1

総合リハビリテーションみどり病院

印 刷：株式会社 タカヨシ